

編修趣意書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学校	教科	種目	学年
27-105	高等学校	外国語	英語表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
15 三省堂	英 I 324	MY WAY English Expression I New Edition		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、英語教育を通して、次の3点を教育理念として掲げ、それを具現化するために編集されたものである。

1. 「ことばの教育」に資する

コミュニケーションのためのことばの知識・技能の習得に加えて、ことばに対する興味・関心を高め、考える力・思考力・表現力を伸ばし、豊かな言語観を育成する。

2. 「国際理解教育」に資する

ますます複雑化する国際社会の中で、比較文化の視点に立ち、世界のさまざまな言語や民族に対して目を向けさせ、人類としての共通性だけではなく地域や民族の個性も同時に尊重し合う、豊かな文化観と真の国際理解の基礎を養う。

3. 「人間教育」に資する

今日のグローバル社会に生きる生徒たちに、英語を学びながら、人間としての生き方やものの見方、考え方、ならびに世界観に目を向けさせ、社会の中で自らの力で考え、判断し、表現できる力を培う。

2. 編修の基本方針

上記の基本理念に則り、以下のような基本方針で編修に臨んだ。

- ことばと人間との関係やことばと社会との関係など広くことばへの関心を高め、豊かな言語観を育てる。
- 言語能力の本質としての思考力の養成を土台として、英語の基礎的な知識や技能の習得、コミュニケーション能力の養成を図る。
- 英語の知識や技能を用いて、自らのことや身のまわりのこと、そして郷土や日本の伝統文化のことなどを簡潔に表現することを重視した。

4. 実際のコミュニケーションにおけるメッセージの役割を重視し、生徒の興味・関心を喚起する題材内容を提示すると共に、「言語の使用場面」と「言語の働き」に留意しながら、創造的な言語活動を目指す。
5. 中学校における学習で習得した基礎的な能力を更に伸長させながら、4技能における言語活動の総合的かつ統合的な関連を図る。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	箇所
題材や英文の内容	英語の基礎的な表現を扱うとともに、身の回りのものから社会的なもの、自然科学まで法の趣旨に添うさまざまな題材内容を取り上げた。環境問題、震災からの復興、日本文化の問題も正面から取り上げた。(第1号)	Get Ready, Lesson 3, 7, 8, 10, 11, 14, 20, 23, Project Work C, Communication Activity 4. 8, Appendix 1 など
	職業に関するレッスンや英文、外国語学習についてのレッスンを設けるなどしている。また、形式的なものにとどまらない、自分の興味関心あることを紹介する自己紹介活動なども扱った。(第2号)	Lesson 2, 15, 22, 24, 25, Project Work B, D, E など
	環境問題や障害者の問題を扱うとともに、扱う英文や写真などで、男女や人種が偏らないように配慮している。職業に関する英文でも、さまざまな業種のもものが扱われるよう配慮した。(第3号)	Lesson 9, 10 (USE), 14, 23, 24 など
	環境問題、エネルギー問題、有害鳥獣の問題などを取り上げ、生徒が自分の考えを簡潔に発信できるよう配慮した。(第4号)	Lesson 4, 7, 10, 14, 20, Project Work A, B など
	レッスンの題材として、また個々の英文で日本の伝統文化を取り上げるとともに、日本の伝統文化や伝統的な風俗について、生徒が自分のことばで発信できるように配慮した。また、国際交流、平和の問題も扱っている。(第5号)	Lesson 8, (特に USE), 9, 11, 19, 21, Review Exercise 4 Write a Paragraph, Appendix 1, Communication Activity 4. 8 など
言語活動	①各レッスン最後の言語活動USE、および各Review ExercisesのWrite a Paragraphは、取り組む生徒の個性、創造性が発揮されるようにした。(第2号)	各レッスンのUSE Review Exercises 1 ~ 5のWrite a Paragraphなど
	②ペアやグループなどの形態を重視し、生徒同士が協力して活動に取り組めるように配慮した。(第3号)	各レッスンのUSE, Communication Activity 1 ~ 10など
構成	教科書の使い方、学ぶ目標、学ぶプロセス、学ぶポイント、などが生徒たちにわかりやすく提示され、学ぶ意欲を喚起し、自ら学ぶ力が育成されるように配慮した。(第2号)	もくじ/ 各レッスン、Project Work, Review Exercises / Communication Activityの構成 / Get Ready! / 巻末の活用表、見返しの「教室英語」「不規則動詞変化表」など

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

1. 日本の文化については、理解するとともに発信していく態度を養えるように題材、活動などの面で配慮した。
2. 教室英語、各種活用表、不規則動詞変化表を掲載し、授業を英語で行う際の一助となることを配慮した。また、付録に自己表現のための語彙を豊富に掲載し、活動の補助になることをめざした。
3. 環境にやさしい教科書づくりを心がけた。用紙については、環境の保護、資源の節約のため、原料や製法に配慮した、環境にやさしい紙を使用した。インキについては、植物由来の油および、それらを主体とする廃食用油等をリサイクルした再生油を含んだ、印刷インキ工業連合会認定の植物油インキを使用した。

編修趣意書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
	高等学校	外国語	英語表現 I	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教 科 書 名		
15 三省堂	英 I 324	MY WAY English Expression I New Edition		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

英語で情報や自分の意向などを簡潔に表現するのに必要十分な言語材料を取り上げるとともに、さまざまな形式・内容で意見の発表や交換をする活動を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や、論理的に意見を述べ、また考察する能力を養うように配慮した。

1. 教科書全体の構成

本レッスンは25課あり、英語の基礎的な力を身につけつつ短い英語で情報を発信することをめざす。Get Ready!は導入のためのもので、中学校での学習内容が中心になる。その他、読んだり聞いたりした情報から情報を再発信するProject Work、いくつかの文法事項を横断的に扱うコラムGrammar for Communicationが適宜挿入される。また、数課毎にまとめの問題Reviewを置き、その中で簡単なパラグラフ・ライティングを扱った。

また巻末にはCommunication Activityとして主にペアワークによる、「聞く・話す」を中心としたインタラクティブな言語活動を配置した。

2. 題材内容

身近なものから社会的な問題まで幅広く提示し、生徒が自分で何らかの考えをまとめることができるタイプのものを精選した。

3. 言語材料の扱い

- 1)言語材料は、簡潔な英文で情報や自分の意向などを話し、書くことを意識して精選した。
- 2)語は、中学校での既習語を中心に、題材内容に即して取り上げた。連語は基本的なものを選択した。

4. 各課の構成

1. Listen

授業の最初に、題材内容についての導入をするためのリスニング。各課に配置された写真を素材にしている。

2. Point

1 レッスンに2つの文法事項を取り上げ、簡潔な解説と豊富な例文を用いてその的確な理解をめざす。英語の基礎的な力を確実に身につけるため、文法事項ごとにさまざまな表現を学習する。簡単な確認の問題Check!を付した。

3. Grammar in Use

学習した文法事項を盛り込こんだ、題材に関するリスニング。音声聞き、空欄に聞き取った語を補充する形式とした。各レッスンの2つのPointいずれの文法事項も最低1箇所は盛り込んでいる。リスニングの補助のため、および可能な場合はリプロダクションの活動のため、日本語で要旨を示したOutlineというコーナーを置いた。

4. Exercises

2つの大問から構成される。単純な文法上の操作をするような問題は避け、その文法事項の理解を促し、活用することに役立つことをめざして出題形式を工夫した。また、次のUSEの準備になるよう、英語での表現に役立つものとなることも意図している。

5. USE

学習した文法事項を使い、与えられた話題で情報や自分の考えなどを簡潔に表現する。ガイドとなる例文と語彙集を用意し、生徒にも指導する教師にも扱いやすい活動を目指した。一度書いてみた後、さらに違う内容で即興的に話す活動を行う。

2. 対照表

図書の 構成・内容 および該当箇所	学習指導要領の内容				配当 時間
	言語材料など	言語活動	言語活動での配慮事項	主な言語の使用場面 ／働き	
Get Ready!	基本事項の確認、文型	簡潔に書く		暮らしにかかわる/ 情報を伝える、など	4
Lesson 1	現在形／現在進行形	簡潔に書く・話す、即 興で話す	音声的な特徴に注意する ／読み返す	家庭生活／説明する、 など	2
Lesson 2	過去形／過去進行形	同上	同上	テレビ／説明する、ほ める、など	2
Lesson 3	未来表現will / be going to	同上	同上	家庭生活／報告する、 など	2
Lesson 4	現在完了形（完了・結果/ 継続・現在完了進行形）	同上	同上	地域活動／描写する、 など	2
Lesson 5	現在完了形（経験）／過去 完了形	同上	同上	映画／ほめる、報告す る、など	2
Review Exercises 1	Lesson 1～5の復習とパラ グラフ・ライティング (chronological order)	簡潔に書く	要点やつながりを示す語 句に注意する／読み返す	旅行／描写する、報告 する、話題を発展させ る、注意を引くなど	1
Project Work A	劇場や博物館の音声ガイ ドを聞いて、内容を伝え る。	簡潔に書く・話す、情 報や考えを発表する	音声的な特徴に注意する ／読み返す	旅行・電子メール、ア ナウンスを聞く／繰 り返す、依頼する	1
Lesson 6	助動詞（許可・可能／義務）	簡潔に書く・話す、即	同上	地域活動／依頼する、	2

図書の 構成・内容 および該当箇所	学習指導要領の内容				配当 時間
	言語材料など	言語活動	言語活動での配慮事項	主な言語の使用場面 ／働き	
		興で話す		許可する、命令する、 など	
Lesson 7	助動詞（推量）	同上	同上	地域活動／推論する、 主張する、反対する	2
Lesson 8	受動態（基本の形／by以外 の前置詞を伴うもの）	同上	同上	地域活動／描写する、 報告する、など	2
Lesson 9	受動態（助動詞＋受動態／ SVOO、SVOCの文の受動 態）	同上	同上	学校生活／描写する、 報告する、など	2
Review Exercises 2	Lesson 6～9の復習とパラ グラフ・ライティング (spatial order)	簡潔に書く	要点やつながりを示す語 句に注意する／読み返す	暮らしにかかわる／ 描写する、説明する、 など	1
Project Work B	自己紹介をする。	簡潔に書く・話す、情 報や考えを発表する	発表に必要な表現を学ぶ ／音声的な特徴に注意す る／要点やつながりを示 す語句に注意する、読み返 す	学校生活／描写する、 報告する、話題を発展 させる、など	1
Lesson 10	不定詞（名詞的用法／形式 主語・形式目的語を用いた 表現）	簡潔に書く・話す、即 興で話す	音声的な特徴に注意する ／読み返す	学校生活／報告する、 驚く、心配する、など	2
Lesson 11	不定詞（副詞的用法／形容 詞的用法）	同上	同上	旅行／描写する、依頼 する、誘う主張する、 など	2
Lesson 12	動名詞	同上	同上	家庭生活／報告する、 描写する、など	2
Lesson 13	現在分詞・過去分詞の限定 用法	同上	同上	地域活動／描写する、 誘う、命令する、など	2
Lesson 14	分詞が補語となる文（叙述 用法）／分詞構文	同上	同上	地域活動／報告する、 命令する、助言する、 など	2
Lesson 15	知覚動詞／使役動詞	同上	同上	家庭生活／描写する、 依頼する、など	2
Review Exercises 3	Lesson 10～15の復習とパ ラグラフ・ライティング （「例示」による構成）	同上	要点やつながりを示す語 句に注意する／読み返す	暮らしにかかわる／ 描写する、主張する、 など	1
Project Work C	ノンフィクションを読み、 内容を伝える。	簡潔に書く、情報や考 えを発表する	要点やつながりを示す語 句に注意する／読み返す	電子メール／説明す る、注意をひく、など	1
Lesson 16	比較（比較級／最上級）	同上	音声的な特徴に注意する ／読み返す	テレビ、ラジオ、など ／描写する、報告す る、など	2
Lesson 17	比較（原級比較／最上級を 用いずに最上を表す表現）	同上	同上	地域活動／描写する、 説明する、など	2
Lesson 18	関係代名詞（主格／目的格 と省略）	同上	同上	学校生活／描写する、 説明する、など	2
Lesson 19	関係代名詞（whose・what ／that）	同上	同上	家庭生活／描写する、 説明する、など	2
Lesson 20	関係副詞	同上	同上	地域活動／ほめる、望 む、説明する、など	2
Review Exercises 4	Lesson 16～20の復習とパ ラグラフ・ライティング （「比較・対照」による構 成）	簡潔に書く	要点やつながりを示す語 句に注意する／読み返す	暮らしにかかわる／ 説明する、主張する、 など	1
Project Work D	あることについての2つ の意見を比較して分析し、 その内容を発表する。	簡潔に書く・話す、情 報や考えを発表する	発表に必要な表現を学ぶ ／複数の意見の共通点、相 違点を考える／音声的な 特徴に注意する／要点や つながりを示す語句に注	学校生活／話題を発 展させる、主張する、 賛成／反対する、注意 を引く、など	1

図書の 構成・内容 および該当箇所	学習指導要領の内容				配当 時間
	言語材料など	言語活動	言語活動での配慮事項	主な言語の使用場面 ／働き	
			意する、読み返す		
Lesson 21	仮定法過去／仮定法過去完了	同上	音声的な特徴に注意する ／読み返す	家庭生活／描写する、 説明する、など	2
Lesson 22	その他の仮定表現（I wish ＋仮定法、as if＋仮定法な ど）	同上	同上	家庭生活／ほめる、説 明する、など	2
Lesson 23	部分否定／準否定語	同上	同上	家庭生活／描写する、 報告する、など	2
Lesson 24	間接話法と時制の一致	同上	同上	学校生活／報告する、 説明する、など	2
Lesson 25	接続詞など	同上	同上	学校生活／描写する、 報告する、など	2
Review Exercises 5	Lesson 21～25の復習とパ ラグラフ・ライティング （「列挙」による構成）	簡潔に書く	要点やつながりを示す語 句に注意する／読み返す	暮らしにかかわる／ 描写する、報告する、 など	1
Project Work E	あることについて、根拠を 添えて意見を述べる。	簡潔に書く・話す、情 報や考えを発表する	発表に必要な表現を学ぶ ／複数の意見の共通点、相 違点を考える／音声的な 特徴に注意する／要点や つながりを示す語句に注 意する、読み返す	家庭生活／話題を発 展させる、主張する、 賛成／反対する、注意 を引く、など	1
Communication Activity	ペアワークを中心に、生徒 が何らか情報を交換し、得 た情報を分析する。	簡潔に書く・話す、情 報や考えを発表する	発表に必要な表現を学ぶ ／複数の意見の共通点、相 違点を考える／音声的な 特徴に注意する	学校生活・家庭生活／ 話題を発展させる、主 張する、注意を引く、 など	6